

第54回全国スポーツ少年大会開催要項  
～ スポーツとアートでかける笑顔のかけ橋 香川から ～



1 趣 旨

全国都道府県代表の団員及び指導者の参加のもと、集団生活を行い、スポーツ活動・文化学習活動・野外活動・交歓交流活動等を通して、青少年のこころとからだを育てるとともに、スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図る。

また、大会はリーダーの育成を考慮したスポーツ交歓交流大会である。

2 主 催

公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団

公益財団法人香川県体育協会 香川県スポーツ少年団

3 主 管

第54回全国スポーツ少年大会香川県実行委員会

4 後 援（申請予定）

スポーツ庁 香川県 香川県教育委員会 高松市 丸亀市 小豆島町教育委員会  
土庄町教育委員会

5 支 援

独立行政法人日本スポーツ振興センター

6 協 賛

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

7 期 日

平成28年7月28日（木）～31日（日） 3泊4日

8 会 場

< 開会式 > サンポートホール高松 TEL 087-825-5000

〒760-0019 高松市サンポート 2-1

< 宿舎・主会場 > 香川県立五色台少年自然センター TEL 087-881-4428

〒761-8002 高松市生島町 423

休暇村 讃岐五色台 TEL 0877-47-0231

〒762-0015 坂出市大屋富町 3042

< SHIPS活動 > 丸亀市民体育館 TEL 0877-24-6251

〒763-0053 丸亀市金倉町 924-1

## 9 活動プログラム

### (1) 大会日程

※ 別紙参照

### (2) 活動内容

- スポーツ活動（ACPを中心メニューとするSHIPS活動）は、班別で行う。
- 文化活動は、瀬戸内国際芸術祭が開催されている小豆島を中心として行う。
- 野外活動
- 交歓交流活動

## 10 参加資格および参加人員

### (1) 参加資格

参加団員及び指導者は、下記事項を満たす者で、都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者とする。

#### ① 団員

- a 平成27年度に団員登録をし、平成28年度も引き続き再登録をしている者で、平成28年4月1日現在、小学4年生以上高校3年生相当の年齢の者。
- b 原則として、運動適性テスト3級以上の者。
- c 集団生活に際し、規則正しい行動のとれる者。
- d 大会日程に耐えられる健康な心身の持ち主で、大会日程およびスポーツ活動に支障がない者。
- e 保護者に大会参加の承諾を得たうえ、所属学校長に大会参加の届出を行った者。
- f 大会の参加にあたり事前研修を受けた者。

#### ② 指導者

スポーツ少年団有資格者で、集団能力に優れ、状況に応じた対応ができ、かつ大会運営に協力できる者。

### (2) 参加人員

各都道府県の代表団は1団とし、小学生4人(男2人、女2人)、中学生・高校生4人(男2人、女2人)の合計8人と指導者1人の合計9人を原則とする。ただし、香川県は2団までとする。

## 11 参加経費

- (1) 参加料 団員・指導者とも、一人につき12,960円（消費税を含む）とする。
- (2) 交通費 大会旅費基準により、参加者の交通費を補助する。  
ただし、香川県の参加者には支給しない。
- (3) 滞在費 大会期間中の宿泊・食事代等の必要経費については、主催者が負担する。

## 12 服装

- (1) 開会式及び指定された活動では、参加者全員が受付時に配布する大会Tシャツと大会帽子を着用すること。
- (2) スポーツ活動および野外活動時の服装等を持参すること。なお、どの衣類にも所属都道府県名、氏名を明記しておくこと。

## 13 携行品

### (1) 個人携行品

健康保険証、活動しやすい服装（長袖・長ズボン・トレーニングウェアを含む）、タオル、運動靴（室内用・屋外用）、ナップサック、雨合羽、軍手、着替え、洗面用具、筆記用具、常備薬（必要な者）、民芸品等 500 円程度の物（交換交流活動で使用）、その他大会に必要な物。

### (2) 団体携行品

日本スポーツ少年団が交付した都道府県スポーツ少年団旗一式

## 14 集合・解散

### (1) 集 合

- ① 日 時 7月28日（木） 受付は、12：30～13：30 の予定  
受付後、更衣及び記念撮影があるので、時刻厳守のこと。  
なお、更衣・記念撮影・開会式会場座席確認後は、14時10分に着席のこと。
- ② 場 所 サンポートホール高松（計画輸送は行わないので、各自で来場すること。）  
会場は、JR高松駅、高松港から徒歩3分。高松空港からJR高松駅行きバス乗車45分。

### (2) 解 散

- ① 日 時 7月31日（日） 11：00 頃の予定
- ② 場 所 五色台少年自然センター

## 15 計画輸送

- (1) 集合 計画輸送は行わないので、各自で来場すること。
- (2) 解散 「五色台少年自然センター」から「JR高松駅」または「高松空港」まで計画輸送を行う。
- ※ 計画輸送の詳細は、参加申込締め切り後、各都道府県に連絡する。

## 16 参加申込方法

- (1) 申込期限 平成28年5月20日（金）必着
- (2) 申込書 別紙所定の申込様式により作成
- (3) 申込書の送付先及び送付部数

所定の申込書を2部作成し、申込期限までに下記あてにそれぞれ1部ずつ送付する。  
併せて電子メールにて、日本スポーツ少年団及び香川県スポーツ少年団宛に送信する。

- ① 公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団  
〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育館内  
TEL 03-3481-2222 FAX 03-3481-2284  
Mail アドレス [jisa@japan-sports.or.jp](mailto:jisa@japan-sports.or.jp)
- ② 公益財団法人 香川県体育協会 香川県スポーツ少年団  
〒760-0004 香川県高松市西宝町 2-6-40 香川県教育会館 4階  
TEL 087-833-1580 FAX 087-833-1583  
Mail アドレス [young-kagawaken@japan-sports.or.jp](mailto:young-kagawaken@japan-sports.or.jp)

## 17 個人情報及び肖像権の取扱いについて

- (1) 大会参加申込みにかかる主催者及び主管団体が取得した各種個人情報については、個人情報保護の観点から、適正に取り扱うものとする。また、取得した個人情報については、大会の参加資格審査・大会運営上必要なプログラム編成及び作成・大会結果掲載にかかわること（掲示板・ホームページ・大会報告書・報道関係への提供等）、その他大会運営及び大会開催に必要な連絡等にのみ使用する。
- (2) 大会結果（記録）については、上記（1）で定めた個人情報とともに、主催者及び主管団体を通じた公開、大会関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載、次回以降の大会プログラムへの掲載等で公表することがある。
- (3) 大会関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真、映像が新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ、インターネットによって配信されることがある。
- (4) 大会参加申込みとして申込書を提出した時点で、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。また、各種大会運営関係者（役員・委員・補助員・関係機関・大会に関する契約をしている者等）については、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

## 18 傷害保険

大会期間中（前後の移動日を含む）、公益財団法人日本体育協会は、開催基準要項に基づき、参加者全員を被保険者とした傷害保険に加入する。

### (1) 支払われる保険金

- |           |                        |
|-----------|------------------------|
| ① 死亡保険    | 200 万円                 |
| ② 後遺障害保険金 | 後遺症の程度に応じて 6 万円～200 万円 |
| ③ 入院保険金   | 日額 3,000 円（180 日限度）    |
| ④ 通院保険金   | 日額 2,000 円（90 日限度）     |

- (2) 保険金の支払いについては、事故による傷害が対象となり疾病は対象とならない。事故による傷害の場合、その治療費は被保険者本人が治療完了まで支払い、その後、本人が所定の保険金請求手続きを行うことにより保険金が支払われる。

なお、その他保険金支払いにかかる詳細については、傷害保険普通保険約款および国内旅行保険金特約条項による。

## 19 その他

- (1) 参加者は、大会期間中全日程に参加し、早退その他の自由行動は認めない。
- (2) 食事については、大会第 1 日目の夕食から最終日の昼食まで主催者で準備する。
- (3) 各都道府県は、参加者に対する事前研修を実施すること。
- (4) 各都道府県は、あらかじめ所属学校長に参加の届け出をさせること。
- (5) 大会参加のための乗車券等の手配は、早めに行うこと。

この事業は、スポーツ振興基金助成活動事業であり、このスポーツ振興基金の助成金は政府からの出資金とスポーツ振興基金支援企業グループからの寄付金を財源とし、その運用益により助成金が支払われます。

～スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン  
暴力 0（ゼロ） 心でつなぐスポーツの絆